

本時のねらい

植物の発芽と成長についてタブレット端末でふり返り、まとめ、共有することを通して、学んだことの定着を図る。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

1 人 1 台端末を用い、植物と発芽の成長について、「見やすい・わかりやすい・学びになる」の 3 観点でスライドを作成することで学習の定着を図る。
児童自身が、発表ツール（Keynote）を使うことを通して、自ら得た情報をまとめて活用する力（情報活用能力）を養い、学習課題の解決に向けて自発的に取り組ませる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末（iPad） ・AppleTV ・AirDrop ・Keynote ・学習支援ソフト（ミライシード） ・電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (3分)	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を貫く学習課題を確認する。 「下級生にプレゼント！見やすい、分かりやすい、学びになるプレゼンをつくろう」 ○教員作成の Keynote を見て、学習の見通しをもつ。 ○本時の学習課題をつかむ。 「班のスライドを合体させて単元のまとめをつくろう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀なスライドは、下級生にも共有することを伝える。 ・観点は、「見やすい・分かりやすい・学びになる」の3つにする。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時で作成したスライドを確認する。 ・種子が発芽する条件 ・種子の発芽と養分 ・植物が成長する条件 ・実験のポイント 上記の4つを分担し、一人一つずつまとめていく。 ○自分の班のスライドをまとめ、よりよい作品を作成する。 ・このスライドの色は、このスライドと統一しよう。 ・この子のスライドがいいから少し真似してみよう。 ○もし、分からないことなどがあれば互いに教え合う。 ・これどんなふうにしたの？ ・これどこからとってきたの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・ノート・学習プリントを参考にすることで、学びになるという観点を充実させる。 ・1 人 1 台端末を生かし、班のメンバーが作成したスライドを素材として活用する。つまり、班で一つの Keynote をつくるのではなく、自分のオリジナル作品を全員が作成する。 ・他の参考になる作品は、随時電子黒板に写し、共有する。
まとめ (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ムーブノート（意見を集約する機能）を使い、ふり返る。 ・発芽には水が必要だということが改めて分かった。 ・みんなが見やすいよう工夫してつくれた。 ○自分でよいと思うふり返りには、拍手ボタンを押し、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の発芽と成長について学びになったことと Keynote を使い 3 観点で工夫したところをふり返らせる。 ・未完成でも、データを保存できる利点を伝え、本時についてふり返らせる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1: 教員の作成した Keynote を提示している場面



写真 2: 児童が 1 人 1 台タブレット端末 (iPad) を用いて、作品を作成している場面



写真 3: 学習支援ソフトを用いて、本時の振り返りを共有する場面

児童生徒の反応や変容

・見やすい、分かりやすい、学びになるという観点で、下級生に共有するためのスライドを作成する。目標を明確化することで、学習意欲が高まった。
・「この表現は伝わりやすいかな」、「クイズや穴埋めにしたら学びになるのかな」などと試行錯誤しながら作成しており、児童の学びが深まった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・それぞれが作成したスライドを班で共有することによって、より質の高いスライドを作成することができた。また、教科書やノート、学習プリント、実験等から学んだことをスライドにまとめるという活動を通して、思考を整理することができた。
・理科の全単元で実践可能なため、これを繰り返すことで、初めは教科書やインターネット上のものを活用するところから、しだいに日々の授業や実際に行った実験を自分で撮影したり、自分のノートを活用したりと、質の高いオリジナルプレゼンテーションを作成できようになると考えている。